特定非営利活動法人共同保存図書館・多壓

0011 調布 市深大寺北町一 - 三一 -2013年7月28 日発行

HP/http://www.tamadepo.org/

田-Mail depo_tama@yahoo.co.jp

が日 が 続 1 しい カュ て がですか。

「多摩デポ」 始まりました。 年目は の活期 動総 が会

返のお の備 のための活動でいたようといる 検索結果をまもなく! 活動です。 、う共 同 お冊 存

ンザ ます。 ひ、 なたも検索ボ

きることができな

1

利用のために保存し顧本は、除籍せずにの市町村で二冊以下

テ

イアとして登録を。

図 な

保存に

V)

書館り、 なっています。

登録を進めたいと検索ボランティアを高いしません。 「多摩デポ」には が ら応できるよう、 ら応できるよう、 が のたい はまだ 依頼

を他依東現行自頼大在

で、

補

業のの

資か 作斜

所除

蔵籍

和は

市

立

义

書館 候

5

第 18 回多摩デポ講座・見学会

公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

で室・図

しできるところです。

午後2時~4時 日時:8月29日(木)

■会場:市川房枝記念会女性と政治センター

(東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館 電話 03-3370-0238)

●集合:JR 新宿駅の南口改札午後1時 45 分

あるいは開始の2時までに、ご自分で直接会場に。

▶見学料:300円

市川房枝記念会女性と政治センターは婦選会館内にあり、 戦災から守られてきた、戦前からの女性参政権獲得運動に 関する膨大な史資料を保管・公開しています。市川房枝の 人となりにふれることもできます。

~NPO の会員でなくてもどなたでも参加できます~



動きとデータベース活用」 「国立国会図書館の新たな

化資料 国立国 氏 \mathcal{O} 配信事業の展望を南 から学びました。 5 月 0 会図書館の 1 の総会記念講演会で 全国 亰 開始と言われる、 公立 デジタル 図 書館 亮

る一方、 です。 進みます。 いがインフラ整備 にくい現状 備えた端末増設の を求める人々にとっても。 いと受け渡しがなく格 多摩の 技術的 図書館でも 市役所の いの館も 読書を愛し 可能 性 あ 理 動 が いるよう プきがあ は大 解 そ 進 情 きなな 差が が れ

関連しますが、

次のブックレット

館』入稿。出来、まもなく。 『電子書籍の特性と図書

第 1 7 回多摩デポ講座

月

1 7

日

(水)

図 所蔵しているか 書 館はどのような本を

講師 氏



です。

発表された一人、-いう若手四人の共1 所蔵しているか:200 「図書館はどのような木 「図書館はどのような木 度最 とした包括的所蔵調査」年上半期総刊行書籍を対 を国分寺労政会館 胃本図書 主で開催 初 \mathcal{O} 書館情報学会誌』 しました。 「多摩デポ講 (191号) に、 昨年9月発 八、大場は ような本を 第 0 6 博究 行 座 幸を لح 象 \mathcal{O}

研究のない公共図書館のなもの。なかなか実証的迫っていこうという野心 を調べ、このくらい 共の総 ことで、 の属性や話題度)総刊行 ーチです。 この研究 大学、 ,所蔵され 蔵書傾 書 また所蔵した書籍 国会図 は、 籍 が、 及を分析さ 向 そ 質重なアプ 言語的な が実証的な が実態に 21年館でど 日の本半 する の年

> ŧ 図書館内部ではこうあり 世 のだと思われ こうであると思う では図っ 書館はこん ている

専門書も何処か点数を反映し、羅的で、話題性 でなく、 かし調査の〈結果〉ばかりされているようでした。し を引きました。 ればどうだったでしょう?蔵書の実態はこの調査にょ るのではないか。 実態をもっとくっきり 分析で公共図書館の の可能性が、 総体として予想以上 この調査の も何処かではカバー反映し、コミックや「話題性よりは出版として予想以上に網 参加者の興味 この方法と 〈方法〉 蔵 描 書 けの

評価 究が注目です。 と求める参加 や図書館のあり方に助言を、 iで〈結果はこのようでしまた大場氏はあくまで慎 と言うに留まりました。 はどうか、 もっと現場 今後 の研

加者 17人 (会員 い報告を検討 中。

これしか持ってないんなに買ってたの?VS「えっ?」図書館ってこ

---講座の感想

・ 対りが丘図書館 (京市

西

ひ東

書館情報 をる形他れ書読期輝、た館 つ切き た て り もん待 П が デ で という。『日本図 でおおよそは理解で でおおよそは理解で がありました。雑誌 でおおよそは理解で がありました。雑誌 でおおよるとも思 に不足があるとも思 のポ ところ 講 座 う思うようとう

の公共図書館(以下「公」明されました。対象は日本内容をグラフを多用して説書演の前半は、学会誌の

試姿を で、 が 対本館 試み。「全て」というところ姿を明らかにしようとするで、図書館蔵書の総体的な対象とした調査を行うこと本の商業出版物『全て』を 大 3 以下「 ソでしょう。 义 玉 と略)。 立国 会 以 図 日書

年間の間、自動検索でコンとしたら、カーリルで、半としたら、カーリルで、半民館図書室、専門図書館含民館図書室、専門図書館含 した5046点を対象とし数を使用せず、無作為抽出ただし、「公」では、この点の点を力ウントしています。 分をしピ年との調てユ間し 9版行6 点物さ年国 上内] のれ の数として3万代市場流通にの工半期の半年間 タを で · タ収 %流通に 定期間 自動 0 のった。 ぱ 万 5 て もな 2 \mathcal{O} 1 たに 5 出発 0 L せ 約全 7

した。(「大」は1234館 対象に Webcat Plus で検索。) 「国」は Porta で検索。) ではないの?というモヤモではないの?」のかます。「公」がメインの研究ではないのでというモヤモーが残ります。「公」は学参いて検索できたのではないかとか。 に、出版社で付与)にあるド(出版社が付与)にあるド(出版社が付与)にある

で 網販 も協版い登 タと販ド いう属性 ネット上で カット上で 会の選[・] タイはー 場 ずる 1 結果 選定 議蔵 1 性で分に発行した。 数を 収 %所 **。「大」は書の所蔵率でいています。 (しています。 (もつでいます。) (もつでいます。) (もつでいます。) (もつでいます。) (もつでいます。) (もつでいます。) (もつでいます。) (もつでいます。) 一でそ 重なるが \neg 話 析形 での書籍が にあった にあった にあった にあった にあった 所本図に題 %を市 類る で館絶とがン]

> は出版点数に従い、特は出版点数に従い、特は出版点数に従い、特に所蔵している。コミだとのことでした。まだとのことでした。まだとのことでした。まだとのことでした。まが成率は予測を上回っ所蔵率は予測を上回った。 _ 傾 向 版点数には話 こまでは雑誌の☆とのことでした。 対 ることなく均等 題 は 度というよ は、籍は、 なら コミック 11 よう 定

に は は は は は は は な が に な が に な が ら 示 し た で 、 都 道 府 県 別 に 、 県 立 と で 、 都 道 府 県 別 に 、 県 立 と で 、 都 道 府 県 別 に 、 県 立 と で 、 都 道 府 県 別 に 、 県 立 と が 、 対 比 し な が ら 示 し た 。 後 要 点 化 し た お 話 で し た 。 後 要 点 化 し た お 話 で し た 。 後 で 、 対 比 し な が ら 示 し て 。 後 で 、 対 比 し な が ら 示 し て 。 後 で 、 対 比 し な が ら 示 し て 。 後 で さ っ た の で す 。



見館率つ書果除り期調せの、の籍をいタ市査 たイ 販 対 書所カ 8 ト書 1 ル 4 7 3 未 率館満の をの蔵 0 ログラフで 風が少ない 里複率(二 の重なり に調査対象 分図書 6 3 象結を

札22はな札56佐な立率きどー幌%小円幌%賀り(同20なう般市。さ、市に県ある8円で論 第書 見館 二館県せの 質に道同ま武重 置な立24す雄覆 立り

> る理ね明県てレ度中均を20県が市図 一たもをれかのな の模16つ中よ 1 知再のにバいトで都%県17 り令籍 の、6 11 だ 50 総 ま 築 で 完 ク 況 の 。 の 、 の 組 一にスの 要図逆機 りはっと裕率政は蔵 が書転能また中同福の今何書で年あ館・はする小程な平市とがすの

だ6円都2の55都カ る理ね明県てレ度中均を20県け年で立千2%道バまか論じら立いポな規は持組立 の上しは万 0 で府 第県率県 0 力 時%度位付50総集 時1億第一次なので、公共図 で 91な山で上 2 あ販 0千位2県すは り書 館 ° 13 Ø 0万の億立

> 事 1 る で県 立 な図

てで率捨 - 82ッ-ク公ざつ都村都率立書私の館れ 斬ほすのて で立を蔵調多がは もぜ 0 です。 0 1 もら 発だ に 表そう本は

待館共 場に新 のよない 講対 析方 の研 可究 法 者 能 結 を図果

一 映 疎画 リニ 開 し ュ テ40 ル万 ₹版完₹

図

事

長

t

出

クシ

彐

で | ユ書話ポ で本邦知の に アメ館を講に はア 初市、お版タ蔵に金 催 がリー族と、 がリー疎 開 丰 ラ野成映開都謙第ラ映し画問立二16 さ

副 の 書 で 箇 ぶ 分 言 に 所んに者取昨しし 所んに自収引したの違増の材年た。 ら題修い補 協をの 「東される」重初版 すれるに お開っな 得ら完 0 事印てれ成業 し40 さ た万れ 象 新後 実 ŧ, た を

て事監 れい例督の もは上 たら財材 て

意編国

を

7 け

11

まし

iz

玉

公

欲をので映

作他

目回壯我局氏京ナョ化には目理が長、三レー館先 1 5 は目理が長 先 8 は事 「の前氏 で立月 区約 0] 午 が 後午長多松日 タ行 立 0 つ15 示れの わ上ていたれ 目付/ 円 いるそうで 15 [地で 詳の各 日 谷 义 し午回 比 らまのの \vdash く後 定 谷 Ŀ 座間でを長りた長り ず。 3 員 义 書開 2 場 2 千ま0料回1直

ĺ 巢 レットライブラリーした図書館等のため 図 まる で 0

する はお、引 で開資催 立です。一つは 引 この き受 提 3 0 日 保れ 1 本 会でし け 1 存 た 大 リ地起業 年響 分 科国10が災 長災支援に対に「多摩デポ」 会図 月 。 した。 まし 要に 域 7 「本で ポーで 充視 の書に 体制に 運 館 し か 営大摩 な料 から は、耐た立 るをす探 を会 つ半

害の地す 図域る 料め目 でののは提 失散少ス域 回保性ク 資 存か分料 し、複を作 で保 複 制災数す。存

> かが ら必 う、 災

図分が い今はし町の館会起 と後寄て村ユス かのす b

リ地けがれし、マは、学て、 で は、 学 7 ト資そ校い多 を料れやまく 1 まの よるごと資料を有三陸町も ぞ行す。 \dot{o} 作を 必成譲れ政 地 宮域 りが機 L 資 7 関 城 県料料 書館県 公け もが女し て呼図 ブ た。 ラ の図 は組館す在いび書失流 Ш リた書 みにる庫るか館わ失町

> 備館つ ま 支護直し す 接 yることになる。 な持参し、次にはなく、!! な

今回 こと 料用にしのみ図で 届 ま 7 \vdash 形 宅市けたっ た。県イライ 図が書は、書催館 に意 つて も図い がつがいい書進館 な書 、できまれては、 、変異しいには、 、変異しいには、 、変異しいには、 、変異しいには、 、変異しいには、 、変異しいには、 、変異しいには、 、できま、 、でき、 、でき、 あっこれて てま 館め再紆 く館 す。 ら建余消 で が サ れに曲滅津 館状新す購一一、向折した の況たが入般ビ現けを で、 で、 や的ス在た経南 ĺ 典郷事の 土業に ポ し揃地寄なをは取な 0 ととがジッ よジた。 え域贈資展仮りが陸 る資で料開設組ら町跡

自 す。 館に民 地て 寄 お民 たのい 贈 す地事ま事『 \mathcal{O} 域業業で が個協る 資を 働 例 立が事 も料 知 に持業 館 あ をり り県 の集っに

近 1 と思 て 用 だされ る 日 ŧ

にます。 注がました。 によう、は ます。 共感すると同 \mathcal{O} 歩み図 していきたいと考えて」としてもこの事業に感すると同時に、「多摩、宮城県図書館の姿勢 城に書 %県図わの 具 せ て 支的 援な を復

きま もに始た市損の津 委員 めな 期 は 民 傷地波な いの て図 お 県 0 界の職員がaといます。と図書館建設は を務職 被同 Þ てい 6つて建物: 害は 県 \mathcal{O} 市の関語を関いている。 気 員 無 仙 ここでは今、 参検構想 きな か 沼 つたもの に係 て を大きく んし、

* ノスト」 は、 义 に掲載あり。 HP「関係文献 の発

図 書館制 に込めた思 度・経営論

田 市立さるびあ図書 ・多摩デポ理事いるびあ図書館

町

はじ

ら、そのここ、について取り上げた で、そこに込めた思った。せっかくの機 で、 カュ 村の 健 基 シ せ 図 今 共同保存との世 ック司 こ 頂 館 と展 1 きた 制 月 度 書 共著、 5 刊 • 利 座 監修 学文社) 义 た拙 書

の保 は存拙 著の 保存センター 利 7月章に 中 ・ 図書館・ 、資料の 体)」であ 能 政れ共 に り、寒れた同

> 図い 書て 館触 \mathcal{O} n 施た 設の は 設 備 で11 あ章

たい。 退に対する市民、 退に対する市民、 最に対する市民、 の該当部分の概要な そこ 第 7 し職後す章

1 都道 |府県の図 書館 政

上図課書 月 1 京い道に て言及した |題と対: げ、 E 館 都 第 7 ついて記述 政 振興策 とし 策」、「国 公表された東京 \mathcal{O} それが だけ 义 策 て、書 た。 書館 义 \neg 館 が「都内 (東京都 0 東図 L 1 図書館 政 た後に、「 最初策 書 97 東京都の公立 一を取り 立り 策 受策」について、「都 0 |の生涯 政都の年(そ 大 らの に 政 · __ の図6の東

生都践 かの が Ļ べきであろう」と結んでかすことができたと考えの図書館振興策にそれをがあったからこそ、東京があったります。

いる。 京 \mathcal{O} 書

る図く。書転 策 書転 次に 2 年 そ 1 館換 \mathcal{O} 政 1 2 2 2 きっ 後退し 東 月 っを取 に 以書館のあた 公表され、 都 り上 けは、 た Ū 東京 义 げ あれって都大館りたりいのき政

東京都教育委員会は、この向上を目指して~』である。方~社会経済の変化に対応方。後の都立図書館のあり し方 - 0 「資料 で対われる で変われる 「再活用」する、「 ている資料」 って東京都 とし、「重な資料収集、日 たち、 ち、 町の見直しを 東京都立図 で東京都立図 は、 保 複 存 図

内」での 直 区 保

ことを

1 の村 縮立 図 などであ 促

部科学省のおり、 都道府! の支援に奴 の望ましい でに応じて、 の望ましい が基準 の関書館の と」を挙げている。館資料の保存に関 供 とい基準」) では、室ましい基準」(以下 に関すること」、「 ふる。 目から告示される。昨年12月1図書館を支援Y 内 の県一立 O等の要求 义 努 で、「資料の紹介、では、「資料の図書館を支援する。昨年12月に文の設置及び運営上の設置のでは、「当該の図書館のでは、「当該の図書館の図書館の図書館の図書館の図書館を支援する 書っ図 存に関するこ て は 書)整備」 。また、「」 に十二 市市 域 \mathcal{O} 町村図 図 內 基 書

> あた同の立っか様望図 t 立 保図 か 様 て、 0 様のことが挙げられて 望ましい基準」でもは 図書館の設置及び運営 宝ましい 凶書館の 存等」 ても 5 たという訳ではない。 特に大きな変 を挙 基設廃 求 止 \otimes して「市 ずに さ 7 びれ て た 1 じ た資だが 更 営公 てほ がいぼ

結書な果館い な紹介 ら能興策資を策」 ことにな 更に、 機 として、 、。都道家 料保存 小と資 とし 能 政 紹 策 介し に なったい資紹府していかである。 斜 ても 料 介 県 保 す のい あ言存 優 ることが センタ 及 れ たで能初人 館初 機振政 す る

> 2 設・設備における資料 都道府県立図書館の 保施

存センター

となっ

つ準」 | | 書館建 | で 電量 建二 -では、「図 ^昭建築の・ 築 「望まし 計 設 • 備

とは都す、道 市町村立図書館 に続けて、「世 に続けて、「世 る市府 求研 公 二、「市 立 加え、 义 書館に 書 館におって 町 研館 村 \mathcal{O} 必いは 立 」、施 要 保図 7

る都立か立図 と呼 ると 味 村館書学 げ 館 立 2 义 7 1 書 施 る確機 館 館に対。設・設備 務 道 府 必 (備)。

ら図書んい館る、書館でうの。

在

 \mathcal{O}

都立

うの

味 籍 で

除そ

資 時

料は市

用村

义

す 立

意

再

活 活 町

用

書館で

ま館のい

であば、

ている。 「再活用」 「再活用」

反 籍

対

0)

意

でてりた時間ではいます。 り 施 道 援 町 書 図 が受資 利 受け 県が主 所蔵し続けれた 市町村立四書館が 市町村立四書館が 要とされ 料蔵市 を都 入 を果たす施 れ 続けることがE 村立図書館単独 村保存」につい 資保保存 えよう。 ならでは 保存し立 である 保存県で書いるでは、 存りであるでは、 であるでは、 であるでは、 ののでは、 ののでは 設

3 る市 市民、図書館職員の運都立図書館の後退に対 動す

り職後な 請組員退か拙 まのに 0 願 E 署れ反対た 名も た対で、対 する がは 詳 取東動市都 L 京が民立 < り 組都様 义 記 書 ま議 述 々 义 れ会に書館で たへ取館のき 会に で



入立つ

籍

にことが

用

す

れ図

7

しは、

都

<u>\frac{1}{2}</u>

多

地摩

域図

の書

市町村館もか

が会域そ 多れ題告摩かか集 9 つで の野図 必のこ から 催 ٩ 図書館なるで さ 社 要 運 \mathcal{O} 会 され、書館 報告 れ会 が 動 行うべきこと」 見えてきたも 都立図書 を あ ると提 ´ラリ をむす 総括 集会 「多摩む 8月、「多摩はると提起された 京に センター 書館 ĺ 2 义 L 0 Ű 対 す 案を 0 が 3 で て ポ 再 ー) (都立 がこ \mathcal{O} をかかれた。 ツ

編 持 問報 ま 至館非O称P イれ行状だの古たわ態け大 る。 営利 O 2 0 れ れので量のて市は廃運 7 共同 0 -年119厘割 Ō 6 た い町な棄る村くは 棄動 る村 年 月ポ \mathcal{O} 書 ·5 月 こと 立 渦 館 我が結 义 書都 • 共 が書 多摩 庫 立 は、 成、 指 館 が図 図特 日

が用へるへな 課すのののど 古た。 すののの ||本市 が無 配 と た 市除 布実料 な 態 &で 配 L 籍 つの でで は 布 7 市資 た。 保存の あが利民料 IJ る 行 用 は がわ者 サ チ \mathcal{O} • 1 必共 ħ t IJ 要同個 て住 ク 満書 資 摘 で 性利人い民ルテ も杯館料 Z

> 用 妥当書 な館

2

0

で終わっ

う

実

上

 \mathcal{O}

出構

版想

ポ表

F 12

出月

版

Ν

ツ

さ

れ

は東取村他で、古の立のな 京 るた あ り 立の 都組図 不だ か 聴 市 ŋ は ら、 < 教 λ 書 民 断 0 耳育 で館団 多摩デポ で に た に た を 全 く に る 。 議 成果を 体、 1 き 立. 東 か 図 持 京 獲 立 L 会 け た図 かな都 は館 な تخ 書 Ļ 市そ 必に い館 が町の 要対

に 書 定 2

付

ュ1け行上さた ラ単 る わ前 W 益、 Δ 一れにが 図 大摩デ となった) て な 急 書 いる 逝 昨 館経 る つされ 年 が 教ポ て カ 司 授 営 5 改 書 富 のの 义 論 新 組 講 士 書 大 大 年 ら担さ 力 習 6 藤 **当** に だ 当れ館 IJ 文 制キ時おで以男

जीति:

こ と 拙

で

述

ベ

道た

のは

館役本

割

あ

放る府が

が県

立

都図の

で が

O

L

図書館員で

いえようくる、 共同保存図書館

立を館 4のが 書制 0 講 口 た < 担 度 師 0 カゝ 上 を 計 引き受 n どれ 知 な だけ \mathcal{O} 1 役 科 义 れ

とが することに る て 講 、ださっ、 みに 習 い斎 \mathcal{O} 藤 念でなら つかかん を 宿 それ L た。 7 舎 な は、 がい で 0 それの ۲ 果 感 9 想拙れ て せなと 夏を著に 文 おを り、 話 É な 司せ対 1 題 っ楽に書てす

りくださ どうか 安ら かん

会員の皆さんへ

"都立 図書館の保存問題、 問題"に関わる活動や執筆 があったら記録したいので お知らせ下さい。

また多摩の図書館その他 のちょっといい話、耳より 情報も、お知らせ下さい。

会員からの 布市 熊野谿 お手 紙 淑子

けが応私が、今年 85年 れ、今年 れ、今年 L 年 今年も欠席いたします。 気でおりますが、 総 なくなってしまい 歳となりまし で私が長時間 申し訳 会 お 8 ありません でとうござ B 家をあ え、主人 たが一

す。 を身に、 と し持は離 1. ち て今 れ私た り | | 書館は | つづ 公 って は

> もよろしくお願 居ります。 現在、私は 楽しむ「下石うたの会」の中の一つが昔の歌を歌すが活動しております。高齢者のためにささやか 壁ぶりを! どうぞこれ ŧ 11 v します。 これから あの御

では私っです。 もり」 すると、 いこ役 まのに 7 ど住が宅 もいに 11 (テ 多戦載 V 載っていない歌、特にます。この会で市販の会を6年前から始めに立てばとの思いからに立てばとの思いからに立てばとの思いからに立てばとの思いからに立てばとの思いからに立てばとの思いからに立てばとの思いからに立てばとの思いからがある。 高齢 地 半の で、 世住 のの 中で歌 紀む 者 -央図 を で現前地 が希 す在か域。 らは は の多くなっ rされ ・「引きこ そ 住 \mathcal{O} 特に古 で相 人戸調の建布 \mathcal{O} \mathcal{O} うのか 場合方 本のめて た お め殆の市

> t 見付 ŧ 7)3 年ん。 6 カュ 版介の 0

た

同けのやさしい漆紹介の同けのやさしい漆紹介の『漆のお話』(注)を出版いたしましたが、その際、ないました。主人の専門は漆の化学的・工学的研究でするのに役立ちました。これらのことからも、公共図書館の蔵書数(分野を補強するのに役立ちました。ついての知識の豊富さがあることが、いかに大切かがあることが、いかに大切かがある度に、友人・知人に調布の図書館のすばらしさを伝えることにしています。 この公共図書は 义 特してい でいくために、 でいる現 でいる機能の

ですが、今年もカンパをさてすが、今年もカンパをされます。その結果として、本格的な「公共共同保存システム」がこれを引き継ぐことが在るのだと思います。そのためのほんの少しの力にでも、との思いで少額力にでも、との思いで少額 せて ま めて とが らこの して筆をおきます。 ただく次第です。 何 りもは 動の 発展 事 期 で、

強す漆な等漆いの方

多摩 むす び

は情報交換の場としてメーび育てる会」の略称。現在「多摩地域の図書館をむす リングリストを運営。

※ ISBN 9784286120201 漆の る夢の お 話 物 2012年刊 21世紀を支え 從著

低

してしまっ

0)

存図書館

9

作除 業中 籍 大 侯和 です 補 市 蔵 か 6 書 の $ar{arphi}$ 依 横 断検

で他籍と一候の最のせ書に年補柱現 庫な半蔵の在 巻巻 $- \mathcal{O}$ まりのつ した他 取市図摩 り所書デ 組蔵館ポ め検の る索除事業

テ図にで他籍 該 ム書該 月の 関本 大の 自治体を は当しないか、 でで 大の協力)でする なら ですに保存する でするなら でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 する図査 しく 検 めいや するだ た書 東 多 資む 索 京は摩料な め館 のが作シ都二地調除業ス立冊域 二地がく 除

6 な裕受 査籍 月り教け東へせ 書た曝 の状 市況 散外依た退部頼 との \mathcal{O} 索配 除 もが倉を 日 が の 必 庫 6 で、 え 程 積 一 月 余に

> ル1切の 第全体い ź で 8 9 一部制 届 9 月 ち次はがと きました 8 応 整 \mathcal{O} $\widehat{7}$ \mathcal{O} 旦 千 じ わ 16, 户 ず デト架 末れ 一架 第二 ま残 で せ念す 切 ンがメー いうちの に 除架 んな 除がが即 ら応

登録者なって自宅 らま作学元のし業校図 元〇ま加ア登 募 統都 Bしえ、 図書館員など 図書館の市役別 とた。顔ぶれい の書館の市役別 では、 が表表し、作業 が表表し、作業 がまな戦ー ルデー 1宅で検 新た。 の図 で、 合 <u>\(\frac{1}{2} \)</u> ジー 検 义 メーリング: 索」機 書 一タをや 館 の寄 \mathcal{O} ボ ど所図は力 業 方 せ 能 シリァ サ りとり、 境 トル利 て13職書 視点 スが も名 え 員書わ者テ \vdash 1 あ 元 館りにイ すエしの る

で 了 では す ま がも は結 様 納 も品

> 録 検 館 ポ 参 を募 索の「 加 ボ依とし →ランティアの事前 *・ に応えられるよう、 に応えられるよう、 集 ラ頼しま

☆ボランティアの

たに見え線な選。出せ、でが定 で 0 出せ でののその 定 l 0 私 田会うとワクワクしませてくれ、知っているでの役割を終えたとはがら検索しました。第定棚を懐かしく思い出したので、昔の見計らになったの当時の社会を対したので、古の見計らい出したので、古の見計らいはなが今回担当した本は ましる間言 第出らんは ーし いど 2

観レづ 『(永井愛)でした。正解は『片づけたい ツけ最初 正た 解記 所は『片 当時同 当時同 が.... 名女し のたた ? のお芝居をたのは「片 ý X た

 \mathcal{O} 依普 頼 段 のの た仕 んめに機な 械協 的力 に貸 検出

> セきみい館 ラまなるが タ出索 なるがイ版 7 くら多 年 かい摩 20が め持地 つち X つ続 \mathcal{O} 口 义 2 け

ま意のあわた。 し味一 る ラー ゆ が端時るま興へたらかがかりまります。 がかかいたらかがいたられた。 あとり、 ががり、 でいたいかいくを ががり、 でいたいかいくを があるしの用、 が現。 作いくを にいるがいれる。 たが端時 出い多せ本の版ていん状べ めて L て版 感じ お文 く化

改図いのSの中B事作■ で心N務業作 う 比 率 В 書 L に で局 し業 Ν とがで よ配 検 がや回 \mathcal{O} n で検索できるデームうか。あるいいいのでしてくれてい で高検 索 作す 数 統 L < で 業 くを きる、 よな しな重 検 欧索サイ うっ やつね かて デー すて る ΄° ζ\ かいた Ļ ま る び タ Ι 都 はい ΙるをS 立と タ

K

? た 検索できるようにな \widehat{N}

記

Ė

手が ろうと、 文言が だっ 録内 誌 容 の検 りと、思わず考え込んで遅いはどこから来るんだ宝一致でなかったり。そ たり。 だ は索 止 を 0 まります。 ったり「 -- フ ボ イ 致し 比 ランテ 画 内容 1 べることで 面 てい ル V 内 F イアウ で9 イ 容紹 るのに、 割以上 が '「抄 ŕ 介 す。 面 Ġ

めな典ば 某 存在に気付くことも、 図 などを調べ 例い また思いがけない資料 「今や国語辞典や百 書館 えば です。 \mathcal{O} $\overline{}$ 日本軍隊 内容紹介に ても載って 用 語 の集にい事 興料の ょ

> 「版元変わって出-1995年の立風書 させ もあ いつ りで心 るほ こんな感じで、 6 IJ 1 \mathcal{O} 検 ッ しつつ、 心したり。 \mathcal{O} うしい 索対 引用 い」と思い る本なんて持 読んでみたい ど需要が シング、 ていただい 2 0 ですが 象 や 5 1 は 毎 1 らち 完本版 ある 1 9 1年 回 四楽しく: 直 て な」と思りよっと借 したり。 1 々諸 今 ち歩きた \mathcal{O} L 書 9 1 います。 が」と言語にいる。 2 口 研 ージ 作業 一一一一 车 依 誌 M لح 頼か

久にそつる て蔵 なのかけい 自中 L やり る 時はれた 治 規 うりに横っ り、が なく ك \mathcal{O} に 自 5 2 少冊市な 治 5 断 体 検 が 本を持たでは、 索をたく な館か度 なとか、 などとい れではあ 5どと、 は 頼 ŋ つ所

て後世

に伝えるため

カラーページで従

わ

わかりやすく解教育、兵器等・制度、兵科・

11

軍

隊

用

語

を拾

(ちょっ 強に る 員 きっ M な と出 り カュ まし けとな **I稽**古 た。 中 ŋ ź 0) Ū 図 書 た。

急ぎ、 もう保存 たことをざっと。 2 一感想 0 06年の資 依 やりながら感じ できない 頼 定 っい 料 0) て、 こですら、 か て取 り

小さい出版社だいか。そんな資料がか。そんな資料がか。そんな資料がか。そんな資料がか。そんな資料がか。そんな資料がある。 さい較 そんな資料が多摩 的新し 出版社だと所 7 能性はなり · 資料 館 時 品で大丈夫 が多摩地区 はないの 勢、 蔵 で ŧ 何館年が

うか。えずてるなところでしょえずはこんなところでしょん。 書誌, ゆっ 書誌を読めて 感 < 想としては 、り考え のるのが面が気づかなり があ れ るの ば 定 また違 番 百いかな が い本 6 5 0 での

届 件 い 名は てい ますか ?

「多摩デポ会員 メーリングリスト」

けるよう います。 報提供 会員同· 11 方をは 、ます。 向利 しておきます。 るよう、 IJ 共 ます。開始かってもらえれば シ \mathcal{O} 用 同 Y 、摩デポ」入会時 利 グリスト(以下 連 Ļ • 士 a 保 交流 へに活 の絡 存 h 図 ば 事 О 义 組用 カュ 務 書 の場とし 書 О Ĺ なばと考え りでな 4 ら1年。 館 局 ! 館 関係 から グルー をお 7 • 多摩 11 Μ など さら ただ て、 Š \mathcal{O} \mathcal{O} 情 ŧ 7

はいに ただい 全員登録済みです。 アドレ た会員、 点、 賛助会員 賛 助·

ルを見たことない

メ

1 リン 度もメー 今まで「多摩デポ会員 グリスト」 が 届 いの い件名で メ

 \widehat{M}_{2}

られます。 局にご連絡ください。 思い当たる方は、 メール をお使い 事

(2) 1 が正しくない。(事務局MLへの登録アドレス らせいただいていない。 メールアドレスをお知

の入力ミスやアドレ

ス

3 ご自分のパソコンの設 して処理されてしまっ 定により、迷惑メールと 変更の未届けなど) は要注意です。) (特に携帯メー

返信する時は気を付けて

に M が、メンバー 力する必要があります。 せる内容 配信されます。 てしまうことがあ に「返信」するとML上に 1.Lで届いたメールに普通 人的 に返 「でない時は アドレスを直 全員に発信し 全員に知ら した ります。 こつもり 接宛



☆多摩デポホームページ リニューアルしてます

いかがですか?☆

に紙 伝わることを目指していまさる方にも私たちの活動が のキーワードで訪ねてくだ ご覧いただけましたか? をリニューアルしました。「多摩デポ」ホームページ 同 [保存]「図書館」「多摩」 会員の方はもちろん、「共 5 月 媒体とのハイブリット 当世図書館事 の総会に合わせ 情と同

V

きます。

とご活用ください。

おすすめのコンテンツ

- V 次・索引:検索もできま 多摩デポ す。(会員の方が作成) 通信 の総 目
- そこから事務局に参加 か見られません。れはホームページでし せ:チラシを知人に送っ デポ講座などのお知ら 毎回の理事会議事録:こ メールを送ったりもで て誘っていただいたり、
- 多摩デポブックレ 案内:購入申込書のダウ ンロードも ツト

公開などを予定しています充実やスマートフォン版の 今後も関係文献リスト 0

で活用してもらえます。

時にもホームページ。色々デポの今までを確認したい時にはホームページ。多摩 多摩デポの今を知りた

★会の現勢

2013年7月15日

(団体会員3団体) (個人会員100名)

賛助会員

(個人45名) (団体1団体)

をよろしくお願いします。 ます。未納の方は会費納入 とご寄付で支えられてい 会の活動は皆様の会費

●年会費

正会員 (個人・団体)

五千円

(個人一口 団体五口 賛助会員一口 二千円 以上)